

## 目標達成計画

作成日: 平成 30 年 5 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	「毎日の取り組みカレンダー」の人目に触れるところへの張り出しについて、利用者のプライバシー保護の面で問題がないのか。	見学者とそよ風で個人情報に関する同意書の取り交わしを行う。	・会社の様式を準備する。 ・全スタッフが対応できるように周知する。	1ヶ月
2	43	自立支援に向け、水分1,500cc/日を目指している。	利用者も嫌がらず飲める物を個々把握し、1,500cc/日を目指す。	・コーヒー、紅茶、お茶、麦茶、牛乳以外の飲み物も常備する。 ・カルピス、ジュース類を食費や厨房での発注で常備する。	3ヶ月
3	2	事業所と地域の付き合いが十分でない。	地域のサロンに参加する。	第2火曜日、14:00~15:00、花蔵院で開催している高齢者のサロンに参加する。1~2名程度。(6月は12日)	1ヶ月
4	4	運営推進会議を活かした取り組み 会議内容がパターン化している。	・警察や消防署の方、自治会長、地域の方などにも参加していただく回を設ける。 ・家族への参加も呼びかける。	・警察署、消防署へ出向き、相談、日程調整を行う。地域の住民への呼びかけも自治会長を通し連絡調整を行う。 ・家族へ手紙や声掛けをして、参加を呼びかけていく。	12ヶ月
5	35	災害対策 消防署立ちあいの避難訓練、昼夜、震災、2階からの避難、地域住民の協力	災害時、地域の方々から協力を頂ける関係性を作る。	・自治会長、副会長と相談しながら、地域を巻き込んだイベントを開催したり、運営推進会議への出席を進めていく。その上で、災害時、単独外出など、協力していただけるような話し合い、避難訓練への参加をお願いしていく。(お知らせしていく)	12ヶ月
6	33	重度化、終末期に向けた方針の共有と支援 看取りに対する職員への研修の実施	看取り体制がとれるようになる。	看取りの利用者のいない現時点で、一度、さつきホームクリニック医師によるレクチャー会を予定している。(日程調整中)	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。